



2019年7月期 決算補足説明資料

証券コード：3172

2019年9月4日(水)

ティーライフ株式会社

<https://www.tealifeir.com/>

当社の事業について



名称：ティーライフ株式会社（証券コード：3172）
本社所在地：静岡県島田市
資本金：356百万円
設立：1983年8月
事業内容：小売事業（健康茶、健康食品、化粧品等の通信販売）
卸売事業（生活雑貨、食品の卸売）
プロパティ事業（袋井センターを活用した不動産賃貸等）
上場証券取引所：東京証券取引所市場第一部

小売事業：主に健康茶、健康食品、化粧品を一般消費者に通信販売



ティーライフ(株)
【所在地】
静岡県島田市

健康茶・化粧品を通じて
健康とキレイのお手伝い



2018.8月グループ化
(株)Lifeit（ライフイット）
【所在地】東京都目黒区

NEW!!

お客様のライフステージに
合わせた商品をご提案



2017.3月設立
提來福股份有限公司
【所在地】台湾台北市

2018.11月設立
特萊芙（上海）貿易有限公司
【所在地】中国上海市

NEW!!

健康茶を通じて
健康づくりのお手伝い



卸売事業 : 主に生活雑貨、食品を通信販売会社や小売店等に販売



2012.11月グループ化
(株)アペックス
【所在地】群馬県高崎市

寝具・食品・生活雑貨を通じて
健康づくりのお手伝い



2014.8月グループ化
(株)ダイカイ
【所在地】愛知県名古屋市港区

かわいいフィギュアを中心に
癒しの空間を演出



プロパティ事業 : 不動産賃貸・倉庫・出荷業務の委託



2015.8月～稼働
(株)ティーライフ
【所在地】静岡県袋井市

当社袋井センターの
有効活用

※当社は、報告セグメント「不動産賃貸事業」において、賃貸以外への事業範囲の拡大を進めており、同事業の資産を活用した出荷業務の請負等を開始しております。これに伴い、当連結会計年度より、報告セグメントの名称を「プロパティ事業」に変更いたしました。

2019年7月期 連結決算概要



(単位：百万円)

	2018/7月期 実績	構成比	2019/7月期 実績	構成比	前年同期比	
					増減	増減率
売上高	7,289	100.0%	9,286	100.0%	1,997	27.4%
売上原価	2,637	36.2%	4,084	44.0%	1,447	54.9%
売上総利益	4,652	63.8%	5,202	56.0%	549	11.8%
販売費及び一般管理費	4,194	57.5%	4,861	52.4%	667	15.9%
営業利益	458	6.3%	340	3.7%	△117	△25.7%
経常利益	470	6.5%	355	3.8%	△114	△24.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	423	5.8%	242	2.6%	△181	△42.8%

- 【売上高】**
- ・売上高は9,286百万円（前年同期比27.4%増）となりました。
 - ・期首より連結対象とした株主会社Lifeitの売上高が、連結売上高の前年同期比増に大きく寄与しました。
 - ・テレビショッピングでのサプリメント販売が大きく伸長しました。

- 【利益】**
- ・卸売事業、プロパティ事業ともに大きく利益を伸ばしましたが、小売事業において顧客開拓にかかる広告宣伝費などの将来の成長に向けた先行投資を行ったことにより営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前年比減となりました。

(単位：百万円)

	2018/7月期 実績	2019/7月期 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	5,171	6,182	1,010	19.5%
セグメント利益	356	28	△328	△92.1%



【売上高】

- ・第3類医薬品「ティアホワイト」、第2類医薬品「防風通聖散」等の取扱いを開始するとともに、従来の商品を機能性表示食品に改良した「ピントー番ゴールド」を発売する等、機能性の高い商品の品揃えを拡充し、「医薬品・機能性表示食品」の販売が順調に推移しました。
- ・期首よりグループ化した(株)Lifeitにて、ベビーグッズ等子育て関連やガーデン用品等の専門性の高いECサイトを展開し、各店舗ごとの品揃え拡充や催事に合わせた販促強化により、売上を拡大しました。

【セグメント利益】

次世代商品の育成のため「hugm(ハグム)ナチュラルシャンプー」や、主力商品の「メタボメ茶」のプロモーションを積極的に展開したこと、台湾・上海を中心としたアジア圏への市場拡大など、将来の成長に向けた先行投資を行ったことにより、セグメント利益は前年比減となりました。

(単位：百万円)

	2018/7月期 実績	2019/7月期 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	2,012	2,903	891	44.3%
セグメント利益	28	160	131	455.6%



【売上高】

- ・主力の北欧寝具ブランド「Danfill（ダンフィル）」に加え、高麗人参エキスを配合したサプリメント「J's kami高麗」や「熟成発酵濃縮黒にんにくゼリー」等の美容・健康関連商品をテレビショッピングを中心に積極展開した結果、売上高は伸長いたしました。小売店向けにおいては、キャラクター雑貨の「コポー」、キッチン雑貨のスチームケース「ルクエ」等の主力商品のほか、ギフト用セットや取引先のニーズに合わせたOEM商品の拡充、春夏向けに接触冷感生地を使用したクールアイテムを追加投入し、他社との差別化を図りました。

【セグメント利益】

テレビショッピングでのサプリメント販売が大きく伸長したこと等により、セグメント利益は、160百万円となりました。

2019年7月期 プロパティ事業の概況

(単位：百万円)

	2018/7月期 実績	2019/7月期 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	105	200	95	90.7%
セグメント利益	85	147	62	73.2%



【売上高・セグメント利益】

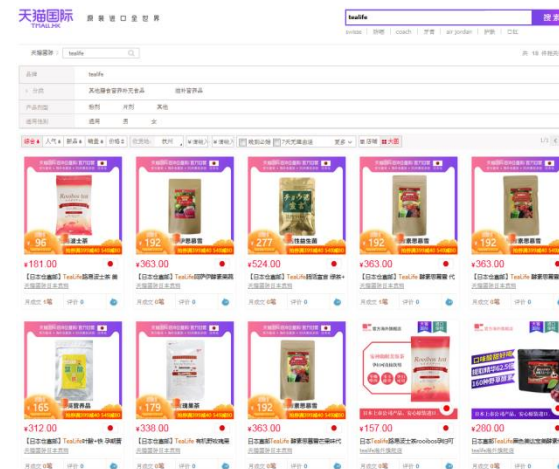
- 不動産の賃貸先の開拓を進めるとともに、新たに他社の出荷業務の請負も開始し、自社不動産の有効活用及び収益化を図った結果、売上高は200百万円（前年同期比90.7%増）、セグメント利益は147百万円（同73.2%増）となりました。

海外展開の状況

- 2017年3月に台湾に現地法人を設立し、その後台湾でのネット通販による販売活動を本格展開いたしました。
- 2018年11月には、中国（上海）における現地法人の設立もいたしました。
- 越境ECなどの手法も活用し、他のアジア圏へも市場を拡大しております。



台湾でのWEB広告ページ



中国 Tモール国際

2020年7月期

連結業績予想



(単位：百万円)

単年度	2019/7月期 実績	構成比	2020/7月期 計画	構成比	増減	増減率	主な要因
売上高	9,286	100.0%	9,373	100.0%	86	0.9%	通販事業の積極的な展開と プロパティ事業の多角化による 売上拡大
営業利益	340	3.7%	368	3.9%	27	8.1%	顧客基盤を固めるための広告費の 積極投下及び効率的運用
経常利益	355	3.8%	371	4.0%	15	4.4%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	242	2.6%	265	2.8%	23	9.7%	

配当金	中間	10円	10円 (予定)	* 予想配当性向 32.0%
	期末	10円	10円 (予定)	
	合計	20円	20円 (予定)	

(単位：百万円)

3ヶ年期計画	2020/7月期 計画	2021/7月期 計画	増減率	2022/7月期 計画	増減率
売上高	9,373	9,551	1.9%	10,131	6.1%
営業利益	368	440	19.5%	534	21.4%
経常利益	371	435	17.2%	529	21.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	265	313	17.9%	385	23.1%

1. 独自性のある商品の開発・育成

第2類医薬品「防風通聖散」や機能性表示食品「ピントー番ゴールド」に続くシニア向けの「医薬品・機能性表示食品」の品揃えを拡充してまいります。
また、(株)NHA様より、事業譲渡を受けた漢方薬の通信販売事業を弊社の通販インフラを活用し、この9月より運営を開始します。

2. 長期的な視点での「ファン」づくり

一人ひとりのお客様のお悩みやご要望に合わせたご提案や応対ができる専門知識や接客力を持ったコミュニケーターの育成に取り組み、お客様のお悩み解決に努めてまいります。
また、お客様同士の交流会や弊社社員とお客様との座談会など、ティーライフならではのイベントを企画・運営し、長期的な視点で、ティーライフの「ファン」を増やしていきます。

3. プロパティ事業の拡大

自社出荷業務で蓄積したノウハウを活用し、新たに他社の出荷業務を請負うなど、物流機能の外販や3PL事業の拡大を推進し、袋井センターを最大限に活用していきます。

4. グループシナジーの最大化

楽天やアマゾンといったECモール部門の拠点を(株)Lifeit社内に移し、ECノウハウの吸収と業務運営の効率化を推進します。
また、ティーライフの卸売事業の機能を(株)ダイカイに集約し、さらなる経営資源の有効活用、事業運営の効率化を図ります。

【本資料に関する注意事項】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問合せ先】

ティーライフ株式会社
コーポレート本部 コーポレート部
T E L (0547) 46-3459
U R L <https://www.tealifeir.com/>